

## 4 診断時の進展度 Tumor Extent at Diagnosis

- 直近の5年間では、全部位では、上皮内10.4%，限局43.4%，領域リンパ節転移9.2%，隣接臓器浸潤11.6%，遠隔転移15.7%，不明9.8%，領域20.7%であった。
- 上皮内と限局を合わせると53.8%であり、約半数のがんが原発した部位に限局していた。
- 部位により、進展度に違いがあるが、直近の5年間とその前の5年間では、進展度に大きな違いはなかった。

### 集計結果

表6-1, 表6-2…進展度別割合

#### 全部位

直近の平成25-29年（2013-2017年）の5年間では、上皮内がんを含む場合、上皮内10.4%，限局43.4%，領域リンパ節転移9.2%，隣接臓器浸潤11.6%，遠隔転移15.7%，不明9.8%，領域20.7%であった（表6-1B）。上皮内と限局を合わせると53.8%であり、約半数のがんが原発した部位に限局していた。

#### 部位別

##### 上皮内

割合が高い部位は、上皮内がんを含む部位に限られており、大腸23.0%，結腸23.8%，直腸21.4%，皮膚20.9%，女性乳房13.0%，子宮45.5%，子宮頸部69.3%，膀胱45.9%と全部位の10.4%を大きく超えていた（表6-1B）。

##### 限局

上皮内がんのない部位では、胃64.9%，肝・肝内胆管60.1%，喉頭68.3%，子宮体部65.9%，前立腺54.0%，精巣70.7%，腎・尿路55.7%，脳・中枢神経系60.0%と50%を超えていた（表6-1A）。

##### 領域リンパ節転移

上皮内がんのある部位では、大腸14.1%，結腸13.0%，直腸16.1%，肺9.9%，女性乳房19.6%と全部位の9.2%を超えていた（表6-1B）。上皮内

がんのない部位では、口腔・咽頭15.1%，甲状腺43.9%と高かった（表6-1A）。

##### 隣接臓器浸潤

上皮内がんのある部位では、食道21.3%，子宮11.3%，子宮頸部10.3%と全部位の11.6%を超えるか、それに近い値であった（表6-1B）。上皮内がんのない部位では、口腔・咽頭35.0%，胆のう・肝外胆管38.0%，膵31.2%，鼻腔・中耳・副鼻腔51.6%，喉頭15.2%，子宮体部13.2%，卵巣40.0%，前立腺15.6%，腎・尿路18.9%，脳・中枢神経系19.3%，悪性リンパ腫17.7%と高かった（表6-1A）。

##### 遠隔転移

上皮内がんのある部位では、肺38.3%で全部位の15.7%を超えていた（表6-1B）。上皮内がんのない部位では、胆のう・肝外胆管22.9%，膵47.0%，悪性リンパ腫38.1%と高かった（表6-1A）。

##### 不明

上皮内がんのある部位では、全部位の9.8%を超える部位はなかった（表6-1B）。上皮内がんのない部位では、肝・肝内胆管17.2%，胆のう・肝外胆管18.6%，鼻腔・中耳・副鼻腔21.9%，卵巣11.5%，前立腺17.8%，脳・中枢神経系15.1%，悪性リンパ腫16.6%と高かった（表6-1A）。

平成20-24年（2008-2012年，表6-2A,B）の5年間と比較すると、それぞれの割合に大きな変化はなかった。

表6-1 進展度別割合 | 平成25-29年(2013-2017年)

A. 上皮内がんを含まない

部位	ICD-10	集計 対象数 ※1	進展度別割合 (%)					
			限局	領域 リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔 転移	不明	領域 ※2
全部位	C00-C96	80,102	48.4	10.3	13.0	17.6	10.7	23.3
口腔・咽頭	C00-C14	1,813	37.7	15.1	35.0	4.2	7.9	50.1
食道	C15	2,515	45.4	9.5	23.2	15.0	6.8	32.8
胃	C16	13,371	64.9	9.3	5.9	13.5	6.4	15.2
大腸	C18-C20	12,975	47.8	18.3	9.3	17.0	7.6	27.6
（再掲）結腸	C18	8,537	47.6	17.1	10.2	17.6	7.5	27.4
（再掲）直腸	C19-C20	4,438	48.3	20.5	7.5	15.8	7.7	28.1
肝・肝内胆管	C22	2,825	60.1	2.8	9.0	11.0	17.2	11.8
胆のう・肝外胆管	C23-C24	1,997	17.0	3.5	38.0	22.9	18.6	41.4
膵	C25	3,325	10.1	3.1	31.2	47.0	8.6	34.2
鼻腔・中耳・副鼻腔	C30-C31	192	19.8	1.0	51.6	5.7	21.9	52.6
喉頭	C32	420	68.3	5.2	15.2	1.7	9.5	20.5
肺	C33-C34	9,948	34.4	9.9	8.3	38.4	9.0	18.2
皮膚	C43-C44	1,810	82.2	1.2	6.1	0.4	10.1	7.3
女性乳房	C50	7,785	58.5	22.6	3.2	5.9	9.6	25.9
子宮	C53-C55	2,120	55.8	4.1	21.1	9.6	9.3	25.2
（再掲）子宮頸部	C53	757	39.9	4.5	35.5	9.1	10.8	40.0
（再掲）子宮体部	C54	1,330	65.9	3.9	13.2	9.9	7.0	17.1
卵巣	C56	1,054	33.4	1.0	40.0	13.9	11.5	41.1
前立腺	C61	6,470	54.0	0.9	15.6	11.7	17.8	16.6
精巣	C62	198	70.7	9.6	2.5	8.6	8.6	12.1
腎・尿路	C64-C66・C68	2,352	55.7	1.8	18.9	13.6	10.0	20.7
膀胱	C67	1,661	64.1	1.5	12.8	5.8	15.1	14.3
脳・中枢神経系	C70-C72	457	60.0	0.0	19.3	5.7	15.1	19.3
甲状腺	C73	1,683	34.6	43.9	6.6	4.9	10.0	50.5
悪性リンパ腫	C81-C85・C96	2,591	26.9	0.7	17.7	38.1	16.6	18.4

B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計 対象数 ※1	進展度別割合 (%)						
			上皮内	限局	領域 リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔 転移	不明	領域 ※2
全部位	C00-C96 D00-D09	90,015	10.4	43.4	9.2	11.6	15.7	9.8	20.7
食道	C15 D001	2,742	8.2	41.7	8.8	21.3	13.7	6.3	30.1
大腸	C18-C20 D010-D012	16,870	23.0	36.8	14.1	7.2	13.1	5.9	21.2
（再掲）結腸	C18 D010	11,221	23.8	36.2	13.0	7.8	13.4	5.8	20.8
（再掲）直腸	C19-C20 D011-D012	5,649	21.4	38.0	16.1	5.9	12.4	6.1	22.1
肺	C33-C34 D021-D022	9,973	0.2	34.3	9.9	8.3	38.3	9.0	18.1
皮膚	C43-C44 D030-D049	2,306	20.9	64.5	1.0	4.8	0.3	8.5	5.8
女性乳房	C50 D05	8,990	13.0	50.7	19.6	2.8	5.1	8.7	22.4
子宮	C53-C55 D06	3,972	45.5	29.8	2.2	11.3	5.1	6.1	13.4
（再掲）子宮頸部	C53 D06	2,609	69.3	11.6	1.3	10.3	2.6	4.9	11.6
膀胱	C67 D090	3,135	45.9	34.1	0.8	6.8	3.1	9.3	7.6

※1 DCO, 進展度の定義が適用されない部位（白血病, 多発性骨髄腫）を除く

※2 領域リンパ節転移+隣接臓器浸潤

表6-2 進展度別割合 | 平成20-24年(2008-2012年)

A. 上皮内がんを含まない

部位	ICD-10	集計 対象数 ※1	進展度別割合 (%)					
			限局	領域 リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔 転移	不明	領域 ※2
全部位	C00-C96	70,153	44.9	9.7	14.0	17.1	14.3	23.7
口腔・咽頭	C00-C14	1,502	35.2	16.6	34.8	4.7	8.8	51.4
食道	C15	2,327	37.2	9.1	26.0	16.8	10.9	35.1
胃	C16	12,652	61.1	8.5	6.9	14.3	9.2	15.4
大腸	C18-C20	11,297	43.0	16.5	10.7	17.2	12.5	27.2
（再掲）結腸	C18	7,372	42.8	15.4	11.8	17.8	12.2	27.1
（再掲）直腸	C19-C20	3,925	43.5	18.5	8.8	16.1	13.1	27.4
肝・肝内胆管	C22	2,686	47.5	1.5	15.3	9.9	25.8	16.8
胆のう・肝外胆管	C23-C24	1,935	13.6	3.8	35.5	21.3	25.8	39.3
膵	C25	2,562	7.3	2.2	29.4	46.2	14.9	31.6
鼻腔・中耳・副鼻腔	C30-C31	177	14.7	0.0	54.2	10.7	20.3	54.2
喉頭	C32	412	67.5	8.3	13.3	1.2	9.7	21.6
肺	C33-C34	8,551	29.2	10.7	13.8	35.1	11.2	24.5
皮膚	C43-C44	1,454	74.6	2.3	7.6	1.2	14.2	9.9
女性乳房	C50	6,228	57.4	22.6	5.0	4.8	10.2	27.6
子宮	C53-C55	1,920	50.9	3.7	24.7	9.1	11.7	28.4
（再掲）子宮頸部	C53	762	41.5	4.6	33.1	9.1	11.8	37.7
（再掲）子宮体部	C54	1,125	58.4	3.2	19.7	9.2	9.5	22.9
卵巣	C56	837	23.2	1.1	41.8	17.4	16.5	42.9
前立腺	C61	6,182	53.6	0.9	12.6	10.8	22.1	13.5
精巣	C62	164	67.1	7.3	3.7	7.9	14.0	11.0
腎・尿路	C64-C66・C68	1,872	53.3	1.6	18.7	14.7	11.8	20.3
膀胱	C67	1,526	62.6	1.3	11.3	4.1	20.7	12.6
脳・中枢神経系	C70-C72	397	58.7	0.0	18.1	3.5	19.6	18.1
甲状腺	C73	1,370	36.2	42.3	8.9	4.2	8.4	51.2
悪性リンパ腫	C81-C85・C96	2,185	25.2	0.3	18.8	35.9	19.8	19.0

B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計 対象数 ※1	進展度別割合 (%)						
			上皮内	限局	領域 リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔 転移	不明	領域 ※2
全部位	C00-C96 D00-D09	77,640	9.1	40.6	8.8	12.6	15.5	13.4	21.4
食道	C15 D001	2,547	8.6	34.0	8.3	23.8	15.4	10.1	32.1
大腸	C18-C20 D010-D012	14,463	20.7	33.6	12.9	8.4	13.4	11.0	21.3
（再掲）結腸	C18 D010	9,612	22.1	32.8	11.8	9.0	13.6	10.6	20.8
（再掲）直腸	C19-C20 D011-D012	4,851	18.1	35.2	15.0	7.1	13.0	11.6	22.1
肺	C33-C34 D021-D022	8,564	0.2	29.2	10.7	13.8	35.1	11.2	24.5
皮膚	C43-C44 D030-D049	1,815	19.2	59.8	1.9	6.1	1.0	12.1	7.9
女性乳房	C50 D05	7,288	13.9	49.1	19.3	4.2	4.1	9.3	23.6
子宮	C53-C55 D06	3,158	37.9	30.9	2.2	15.0	5.5	8.4	17.3
（再掲）子宮頸部	C53 D06	2,000	59.8	15.8	1.8	12.6	3.5	6.6	14.4
膀胱	C67 D090	2,628	40.2	36.3	0.8	6.5	2.4	13.8	7.3

※1 DCO, 進展度の定義が適用されない部位（白血病, 多発性骨髄腫）を除く

※2 領域リンパ節転移+隣接臓器浸潤

## 5 初回治療 First Course of Treatment

- 直近の5年間では、最も多かったのは外科的治療、次いで、化学療法、内視鏡的治療、鏡視下治療、内分泌療法、放射線療法、その他の治療の順であった。
- がんの病巣を切除する観血的治療は、全体の62.5%で実施されていた。観血的治療が行われた部位の多くで、腫瘍遺残なしが80%を超えており、その割合は増加していた。
- 特異的な治療が行われなかった症例は11.4%、それ以外の症例では、当該がんの診断後、縮小・切除を意図した治療が行われていた。

### 集計結果

表7-1, 表7-2…初回治療を行った症例の割合

表8…腫瘍遺残の有無

### 全部位

直近の平成25-29年（2013-2017年）の5年間で、全部位に対して行われた治療を見てみると、最も多かったのが外科的治療で31.8%であった（表7-1B）。次いで、化学療法24.7%、内視鏡的治療17.1%、鏡視下治療13.6%、内分泌療法9.0%、放射線療法8.9%、その他の治療2.1%の順であった。がんの病巣を切除する観血的治療は、全体の62.5%で実施されていた。特異的な治療が行われなかった症例は11.4%、治療内容が不明であった症例は8.7%であった。

平成20-24年（2008-2012年、表7-2B）の5年間と比較すると、観血的治療の実施割合に違いはなかったものの、外科的治療は40.5%から31.8%へ減少し、鏡視下治療が7.0%から13.6%へ増加しており、観血的治療が外科的治療からより侵襲の少ない鏡視下治療にシフトしていた。

### 部位別

#### 観血的治療

直近の5年間で見てみると、上皮内がんのある部位では、ほとんどの部位で全部位の62.5%を超えていたが、食道54.5%、肺37.1%と低かった（表7-1B）。上皮内がんのない部位でも、多

くの部位で50%を超えており、観血的治療が治療の主体であることが伺えた（表7-1A）。しかし、肝・肝内胆管22.2%、膵33.6%、鼻腔・中耳・副鼻腔34.4%、喉頭39.0%、前立腺20.2%と低かった。また、血液系の腫瘍では、観血的治療はほとんど行われず、悪性リンパ腫8.1%、多発性骨髄腫1.9%、白血病0.2%と低い値であった。

平成20-24年（2008-2012年、表7-2A,B）の5年間と比較すると、観血的治療の実施割合が高い部位、低い部位に大きな違いはなかった。

#### 外科的治療

直近の5年間で見てみると、観血的治療と同様の傾向がみられた。上皮内がんのある部位では、皮膚83.9%、女性乳房79.9%、子宮70.7%、子宮頸部68.7%と全部位の31.8%を超えていた（表7-1B）。上皮内がんのない部位では、口腔・咽頭55.0%、子宮体部76.2%、卵巣70.8%、精巣90.4%、脳・中枢神経系51.4%、甲状腺81.9%と高い値であった（表7-1A）。多発性骨髄腫と白血病では、ほとんど行われていなかった。

平成20-24年（2008-2012年、表7-2A,B）の5年間と比較すると、実施割合が高い部位に大きな違いはなかった。

#### 鏡視下治療

鏡視下治療は、実施されている部位は限られている。上皮内がんのある部位では、実施割合が高く、大腸27.4%、結腸27.7%、直腸26.8%、肺30.2%と全部位の13.6%を超えていた（表7-

1B)。上皮内がんのない部位では、胃14.9%、腎・尿路34.0%と高い値であった（表7-1A）。

平成20-24年（2008-2012年，表7-2A,B）の5年間と比較すると、上皮内がんのない部位では、胃、子宮体部、前立腺、腎・尿路において、また、上皮内がんのある部位では、食道、大腸、結腸、直腸、肺において、その割合が増加していた。外科的治療の割合が低下していることから、より侵襲の少ない鏡視下治療にシフトしている結果と考えられた。

### 内視鏡的治療

上皮内がんのある部位では、食道37.9%、大腸31.7%、結腸31.3%、直腸32.5%、膀胱75.3%と高く、外科的治療、鏡視下治療よりも高かった（表7-1B）。上皮内がんのない部位でも、胃43.2%、胆のう・肝外胆管19.4%と高い値であった（表7-1A）。

平成20-24年（2008-2012年，表7-2A,B）の5年間と比較すると、内視鏡的治療の実施割合が高い部位に大きな違いはなかったが、上皮内がんのある部位では、食道、大腸、結腸、直腸、膀胱において、その割合が増加しており、上皮内がんのない部位でも、鼻腔・中耳・副鼻腔で増加していた。

### 放射線療法

放射線療法は、実施割合が高い部位と低い部位がある。上皮内がんのある部位では、食道30.6%、肺13.8%、女性乳房25.5%、子宮10.5%、子宮頸部14.6%と全部位の8.9%を超えていた（表7-1B）。上皮内がんを含まない部位では、口腔・咽頭26.9%、鼻腔・中耳・副鼻腔44.3%、喉頭47.9%、前立腺12.1%、脳・中枢神経系52.1%と高い値であった（表7-1A）。

平成20-24年（2008-2012年，表7-2A,B）の5年間と比較すると、放射線療法の実施割合が高い部位に大きな違いはなかったが、多くの部位でその割合は低下していた。しかし、女性乳房では若干増加していた。

### 化学療法

化学療法も実施割合が高い部位と低い部位がある。上皮内がんのある部位では、食道31.8%、肺33.2%、膀胱53.7%と全部位の24.7%を超え

ていた（表7-1B）。上皮内がんを含まない部位では、肝・肝内胆管33.0%、膵45.8%、鼻腔・中耳・副鼻腔31.3%、子宮体部38.2%、卵巣55.9%、精巣40.9%、脳・中枢神経系50.3%、悪性リンパ腫63.0%、多発性骨髄腫63.3%、白血病68.8%と高い値であった（表7-1A）。

平成20-24年（2008-2012年，表7-2A,B）の5年間と比較すると、実施割合の増加している部位と減少している部位があったが、総じてその変化は大きなものではなかった。しかし、肝・肝内胆管、膀胱では10%以上、増加していた。

### 内分泌療法

内分泌療法は、実施されている部位は限られる。上皮内がんのある部位では、女性乳房47.9%と全部位の9.0%を超えていた（表7-1B）。上皮内がんを含まない部位では、前立腺46.7%、甲状腺43.2%と高い値であった（表7-1A）。

平成20-24年（2008-2012年，表7-2A,B）の5年間と比較すると、内分泌療法の実施割合が高い部位に大きな違いはなく、いずれも増加していたが、甲状腺では20%以上も増加していた。甲状腺では、甲状腺切除術後の甲状腺ホルモンの投与が内分泌療法に該当する場合があります。施設による取扱いの違いが反映された可能性がある。

### その他の治療

その他の治療は、肝・肝内胆管36.3%を除いて実施割合が低かった。肝がんでは、肝動脈塞栓療法や経皮的エタノール注入療法などが実施されることが多いが、これらの治療は「その他の治療」に該当するためと考えられる（表7-1A,B）。

平成20-24年（2008-2012年，表7-2A,B）の5年間と比較しても、実施割合に大きな違いはなかった。

### 特異的治療なし

特異的治療なしは、上皮内がんのある部位では、食道11.3%、肺19.9%で全部位の11.4%を超えるか、それに近い値であった（表7-1B）。上皮内がんを含まない部位では、肝・肝内胆管23.0%、胆のう・肝外胆管27.7%、膵27.6%、前

立腺13.7%，腎・尿路12.5%，脳・中枢神経系14.7%，悪性リンパ腫18.1%，多発性骨髄腫19.7%，白血病20.7%と高い値であった（表7-1A）。

平成20-24年（2008-2012年，表7-2A,B）の5年間と比較すると，大きな違いはなかった。

### 腫瘍遺残の有無

直近の平成25-29年（2013-2017年）の5年間の全部位では，腫瘍遺残なしは84.5%であった（表8B）。部位別にみても多くの部位で，腫瘍遺残なしが80%を超えていた。上皮内がんのある部位では，膀胱66.5%と低かった。上皮内がんを含まない部位では，胆のう・肝外胆管55.4%，膵58.1%，鼻腔・中耳・副鼻腔68.8%，卵巣70.3%，脳・中枢神経系55.7%，悪性リンパ腫50.0%と低かった（表8A）。

平成20-24年（2008-2012年）の5年間と比較すると，鼻腔・中耳・副鼻腔を除くすべての部位で，腫瘍遺残なしの割合が増加していた。

表7-1 初回治療を行った症例の割合 | 平成25-29年(2013-2017年)

A. 上皮内がんを含まない

部位	ICD-10	集計対象数 ※1	初回治療を行った症例の割合(%) ※2									
			外科的治療	鏡視下治療	内視鏡的治療	(再掲) 観血的治療	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他の治療	不明	特異的治療なし
全部位	C00-C96	81,667	31.5	14.5	13.0	58.9	9.6	26.5	9.9	2.1	9.2	12.4
口腔・咽頭	C00-C14	1,813	55.0	0.3	2.3	57.6	26.9	22.1	0.0	0.1	12.7	8.8
食道	C15	2,515	5.8	12.2	34.4	52.4	33.1	34.5	0.0	0.6	6.3	11.2
胃	C16	13,371	20.4	14.9	43.2	78.5	0.5	14.7	0.0	0.4	6.7	9.9
大腸	C18-C20	12,975	36.8	34.2	14.1	85.1	1.5	25.0	0.0	0.2	6.4	8.5
(再掲) 結腸	C18	8,537	37.5	34.7	12.9	85.1	0.2	23.4	0.0	0.2	6.2	9.2
(再掲) 直腸	C19-C20	4,438	35.4	33.3	16.3	85.1	3.9	28.1	0.0	0.3	6.6	7.1
肝・肝内胆管	C22	2,825	17.6	2.9	1.7	22.2	1.8	33.0	0.1	36.3	11.2	23.0
胆のう・肝外胆管	C23-C24	1,997	33.7	3.7	19.4	56.7	1.2	25.5	0.1	1.0	7.8	27.7
膵	C25	3,325	22.6	1.0	10.0	33.6	2.3	45.8	0.1	0.3	9.7	27.6
鼻腔・中耳・副鼻腔	C30-C31	192	21.4	0.5	12.5	34.4	44.3	31.3	0.0	0.5	30.2	7.3
喉頭	C32	420	32.9	0.5	5.7	39.0	47.9	16.9	0.0	4.5	10.0	5.5
肺	C33-C34	9,948	6.8	30.1	0.1	37.0	13.8	33.3	0.1	0.3	10.3	20.0
皮膚	C43-C44	1,810	84.5	0.0	0.2	84.6	3.6	4.1	0.1	3.3	8.4	3.4
女性乳房	C50	7,785	77.8	0.1	0.1	78.0	26.0	29.9	53.5	0.2	9.5	1.8
子宮	C53-C55	2,120	65.0	5.6	0.3	70.9	19.4	37.9	1.5	0.1	9.2	4.7
(再掲) 子宮頸部	C53	757	47.8	2.5	0.3	50.6	49.7	38.8	0.0	0.1	11.8	4.8
(再掲) 子宮体部	C54	1,330	76.2	7.4	0.4	84.1	2.6	38.2	2.3	0.2	6.3	4.2
卵巣	C56	1,054	70.8	4.1	0.1	75.0	0.8	55.9	0.3	0.4	8.5	7.3
前立腺	C61	6,470	7.5	11.9	0.8	20.2	12.1	2.3	46.7	0.3	14.8	13.7
精巣	C62	198	90.4	1.0	0.0	91.4	0.0	40.9	0.0	0.0	6.6	1.0
腎・尿路	C64-C66・C68	2,352	32.4	34.0	1.0	67.3	3.3	15.2	0.2	4.4	10.7	12.5
膀胱	C67	1,661	11.9	2.3	62.4	76.6	6.4	51.1	0.8	8.2	11.0	9.9
脳・中枢神経系	C70-C72	457	51.4	0.0	0.7	52.1	52.1	50.3	0.0	0.9	15.3	14.7
甲状腺	C73	1,683	81.9	0.4	0.4	82.6	7.5	1.8	43.2	0.2	9.7	6.4
悪性リンパ腫	C81-C85・C96	2,611	6.2	1.1	0.8	8.1	9.5	63.0	0.4	3.4	10.3	18.1
多発性骨髄腫	C88・C90	575	0.9	0.3	0.7	1.9	7.8	63.3	0.9	5.2	11.0	19.7
白血病	C91-C95	1,007	0.2	0.0	0.0	0.2	2.5	68.8	1.1	3.4	8.9	20.7

B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計対象数 ※1	初回治療を行った症例の割合(%) ※2									
			外科的治療	鏡視下治療	内視鏡的治療	(再掲) 観血的治療	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他の治療	不明	特異的治療なし
全部位	C00-C96 D00-D09	91,580	31.8	13.6	17.1	62.5	8.9	24.7	9.0	2.1	8.7	11.4
食道	C15 D001	2,742	5.4	11.2	37.9	54.5	30.6	31.8	0.0	0.8	6.2	11.3
大腸	C18-C20 D010-D012	16,870	28.7	27.4	31.7	87.8	1.2	19.3	0.0	0.3	5.6	6.6
(再掲) 結腸	C18 D010	11,221	28.9	27.7	31.3	87.9	0.2	17.8	0.0	0.2	5.5	7.1
(再掲) 直腸	C19-C20 D011-D012	5,649	28.3	26.8	32.5	87.5	3.1	22.2	0.0	0.3	5.9	5.7
肺	C33-C34 D021-D022	9,973	6.8	30.2	0.1	37.1	13.8	33.2	0.1	0.3	10.3	19.9
皮膚	C43-C44 D030-D049	2,306	83.9	0.0	0.2	84.1	2.9	4.2	0.1	2.9	7.8	3.9
女性乳房	C50 D05	8,990	79.9	0.1	0.1	80.1	25.5	26.0	47.9	0.2	8.7	1.7
子宮	C53-C55 D06	3,972	70.7	6.8	0.6	78.1	10.5	20.2	0.9	0.2	24.9	5.4
(再掲) 子宮頸部	C53 D06	2,609	68.7	6.6	0.7	75.9	14.6	11.3	0.2	0.2	8.9	5.8
膀胱	C67 D090	3,135	7.1	2.0	75.3	84.5	3.5	53.7	0.6	8.4	7.0	6.1

※1 DCOを除く

※2 複数の治療を行っている場合、それぞれの治療の実施割合に計上



表7-2 初回治療を行った症例の割合 | 平成20-24年(2008-2012年)

A. 上皮内がんを含まない

部位	ICD-10	集計対象数 ※1	初回治療を行った症例の割合(%) ※2									
			外科的治療	鏡視下治療	内視鏡的治療	(再掲)観血的治療	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他の治療	不明	特異的治療なし
全部位	C00-C96	71,546	40.6	7.5	11.3	59.4	10.4	25.0	7.6	4.7	6.5	12.7
口腔・咽頭	C00-C14	1,502	56.7	0.1	2.1	58.9	34.9	26.5	0.0	1.6	5.8	11.6
食道	C15	2,327	13.9	8.0	23.8	45.7	40.2	40.5	0.1	3.0	5.5	10.7
胃	C16	12,652	36.5	7.2	35.1	78.7	0.3	14.8	0.0	1.9	4.5	10.7
大腸	C18-C20	11,297	60.6	14.6	10.6	85.8	0.9	19.3	0.1	2.2	6.9	6.8
(再掲)結腸	C18	7,372	59.3	16.2	9.5	85.1	0.4	18.5	0.0	2.3	6.9	7.5
(再掲)直腸	C19-C20	3,925	63.1	11.5	12.6	87.2	2.0	20.9	0.1	2.1	6.8	5.5
肝・肝内胆管	C22	2,686	20.8	0.5	1.5	22.8	1.4	18.7	0.1	38.3	10.6	21.4
胆のう・肝内胆管	C23-C24	1,935	38.2	2.8	19.1	60.2	2.6	24.0	0.0	8.9	5.3	21.0
膵	C25	2,562	26.3	0.4	13.2	39.9	1.6	44.2	0.1	5.8	5.9	22.5
鼻腔・中耳・副鼻腔	C30-C31	177	27.1	0.0	1.7	28.8	50.8	40.1	0.0	6.2	10.7	17.5
喉頭	C32	412	35.4	0.7	5.6	41.7	54.1	20.4	0.0	5.1	7.5	5.3
肺	C33-C34	8,551	13.4	22.1	0.2	35.7	17.7	37.0	0.0	2.1	5.3	20.3
皮膚	C43-C44	1,454	84.2	0.0	0.1	84.3	3.4	4.7	0.0	3.3	7.0	4.4
女性乳房	C50	6,228	80.8	0.0	0.0	80.8	21.1	29.6	41.1	3.5	6.9	2.6
子宮	C53-C55	1,920	71.0	0.6	0.3	71.9	21.8	36.1	0.6	3.4	7.1	5.1
(再掲)子宮頸部	C53	762	52.4	1.0	0.4	53.8	48.3	34.5	0.1	3.5	7.3	7.0
(再掲)子宮体部	C54	1,125	85.2	0.3	0.3	85.7	4.5	38.1	0.9	3.2	5.3	3.6
卵巣	C56	837	73.2	2.0	0.0	75.3	1.2	60.7	0.0	3.6	6.9	8.2
前立腺	C61	6,182	17.0	2.2	1.3	20.5	16.5	3.6	40.6	4.0	9.1	18.9
精巣	C62	164	84.1	1.8	0.0	86.0	1.8	34.8	0.0	1.2	10.4	0.6
腎・尿路	C64-C66・C68	1,872	49.6	20.9	1.2	71.7	3.8	12.1	0.3	8.5	5.0	14.8
膀胱	C67	1,526	14.3	1.0	59.3	74.6	7.6	35.8	0.4	8.9	8.8	9.5
脳・中枢神経系	C70-C72	397	61.0	0.0	0.0	61.0	58.9	56.2	0.0	1.3	6.3	14.6
甲状腺	C73	1,370	89.0	0.2	0.1	89.3	4.5	0.9	19.9	1.5	5.0	4.4
悪性リンパ腫	C81-C85・C96	2,195	10.4	0.6	0.4	11.5	12.0	61.1	0.4	4.7	7.2	17.1
多発性骨髄腫	C88・C90	506	0.8	0.0	0.0	0.8	7.1	55.1	1.4	5.5	11.9	25.3
白血病	C91-C95	890	0.3	0.0	0.0	0.3	3.8	62.6	1.0	8.4	8.8	20.3

B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計対象数 ※1	初回治療を行った症例の割合(%) ※2									
			外科的治療	鏡視下治療	内視鏡的治療	(再掲)観血的治療	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他の治療	不明	特異的治療なし
全部位	C00-C96 D00-D09	79,033	40.5	7.0	15.0	62.5	9.7	23.2	7.2	4.8	6.2	11.8
食道	C15 D001	2,547	13.3	7.3	29.0	49.6	36.8	37.1	0.1	3.3	5.1	10.4
大腸	C18-C20 D010-D012	14,463	49.5	12.1	26.3	87.9	0.7	15.2	0.0	2.1	5.8	6.0
(再掲)結腸	C18 D010	9,612	47.8	13.3	26.4	87.5	0.3	14.3	0.0	2.1	5.8	6.5
(再掲)直腸	C19-C20 D011-D012	4,851	52.9	9.6	26.3	88.8	1.6	16.9	0.1	2.1	5.8	5.0
肺	C33-C34 D021-D022	8,564	13.4	22.1	0.2	35.7	17.7	36.9	0.0	2.2	5.2	20.2
皮膚	C43-C44 D030-D049	1,815	84.2	0.0	0.1	84.4	2.9	4.4	0.0	2.9	6.3	4.8
女性乳房	C50 D05	7,288	82.7	0.0	0.0	82.8	21.1	25.4	38.9	5.5	6.5	2.4
子宮	C53-C55 D06	3,158	76.3	1.4	0.3	78.0	13.5	22.0	0.4	3.5	5.7	6.2
(再掲)子宮頸部	C53 D06	2,000	72.3	2.0	0.4	74.7	18.8	13.3	0.1	3.6	5.0	7.6
膀胱	C67 D090	2,628	10.8	1.1	70.5	82.4	4.5	36.3	0.3	8.6	6.5	6.4

※1 DCOを除く

※2 複数の治療を行っている場合、それぞれの治療の実施割合に計上



表8 腫瘍遺残の有無 | 平成20-29年(2008-2017年)

A. 上皮内がんを含まない

部位	ICD-10	集計 対象数 ※	平成20-24年 (2008-2012)			集計 対象数 ※	平成25-29年 (2013-2017)		
			腫瘍遺残の有無の割合 (%)				腫瘍遺残の有無の割合 (%)		
			腫瘍遺残 なし	腫瘍遺残 あり	不明		腫瘍遺残 なし	腫瘍遺残 あり	不明
全部位	C00-C96	41,618	73.3	26.0	0.7	46,995	83.8	15.4	0.8
口腔・咽頭	C00-C14	881	85.1	14.3	0.6	1,041	88.1	11.7	0.2
食道	C15	1,043	80.1	19.3	0.7	1,303	87.0	12.7	0.3
胃	C16	9,698	81.5	17.6	0.9	10,201	91.6	8.1	0.3
大腸	C18-C20	9,385	72.6	27.1	0.3	10,534	87.0	12.8	0.2
（再掲）結腸	C18	6,069	73.2	26.5	0.3	6,931	87.4	12.4	0.2
（再掲）直腸	C19-C20	3,316	71.6	28.2	0.2	3,603	86.2	13.6	0.2
肝・肝内胆管	C22	609	79.8	19.4	0.8	621	81.8	17.7	0.5
胆のう・肝外胆管	C23-C24	1,075	48.5	50.8	0.7	1,036	55.4	44.0	0.6
膵	C25	948	44.0	55.1	0.9	1,059	58.1	41.5	0.5
鼻腔・中耳・副鼻腔	C30-C31	51	72.5	25.5	2.0	64	68.8	31.3	0.0
喉頭	C32	170	67.6	29.4	2.9	161	83.2	16.1	0.6
肺	C33-C34	2,998	82.8	17.0	0.2	3,676	94.1	5.5	0.4
皮膚	C43-C44	1,224	88.8	10.9	0.3	1,529	94.9	4.8	0.3
女性乳房	C50	5,032	68.4	31.4	0.2	6,065	76.0	20.6	3.4
子宮	C53-C55	1,374	78.6	21.3	0.1	1,498	85.8	13.7	0.5
（再掲）子宮頸部	C53	407	78.9	20.9	0.2	378	83.6	15.9	0.5
（再掲）子宮体部	C54	961	79.0	20.9	0.1	1,117	86.7	12.8	0.5
卵巣	C56	629	54.8	44.0	1.1	784	70.3	28.8	0.9
前立腺	C61	1,263	70.2	29.3	0.6	1,303	81.1	18.3	0.5
精巣	C62	139	83.5	16.5	0.0	181	90.1	8.8	1.1
腎・尿路	C64-C66・C68	1,333	72.5	27.0	0.5	1,575	89.7	10.1	0.2
膀胱	C67	1,095	45.5	52.0	2.6	1,193	54.0	45.0	1.0
脳・中枢神経系	C70-C72	242	55.0	40.9	4.1	237	55.7	44.3	0.0
甲状腺	C73	1,222	72.8	27.2	0.0	1,386	86.4	13.0	0.6
悪性リンパ腫	C81-C85・C96	252	29.8	60.3	9.9	212	50.0	43.4	6.6

B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計 対象数 ※	平成20-24年 (2008-2012)			集計 対象数 ※	平成25-29年 (2013-2017)		
			腫瘍遺残の有無の割合 (%)				腫瘍遺残の有無の割合 (%)		
			腫瘍遺残 なし	腫瘍遺残 あり	不明		腫瘍遺残 なし	腫瘍遺残 あり	不明
全部位	C00-C96 D00-D09	48,487	74.3	25.1	0.7	56,078	84.5	14.7	0.8
食道	C15 D001	1,240	80.2	19.0	0.8	1,479	88.2	11.5	0.3
大腸	C18-C20 D010-D012	12,377	76.5	23.1	0.3	14,297	89.2	10.4	0.3
（再掲）結腸	C18 D010	8,185	77.3	22.4	0.4	9,526	89.7	10.0	0.3
（再掲）直腸	C19-C20 D011-D012	4,192	75.1	24.7	0.3	4,771	88.4	11.3	0.3
肺	C33-C34 D021-D022	3,005	82.8	16.9	0.2	3,697	94.2	5.5	0.4
皮膚	C43-C44 D030-D049	1,530	89.0	10.6	0.4	1,936	95.6	4.2	0.2
女性乳房	C50 D05	6,029	66.6	33.2	0.2	7,192	74.9	22.2	2.9
子宮	C53-C55 D06	2,455	82.8	16.8	0.4	3,086	86.3	12.8	0.9
（再掲）子宮頸部	C53 D06	1,488	85.6	13.8	0.5	1,966	86.2	12.7	1.1
膀胱	C67 D090	2,115	54.2	43.3	2.5	2,565	66.5	32.7	0.7

※ DCOを除く、外科的治療・鏡視下治療・内視鏡的治療のいずれかが「自施設で施行(あり)」

## 6 がんの発見経緯 Proportion of Screening detected Cases

- 直近の5年間では、がん検診・健康診断・人間ドックによる発見割合は20.2%であった。
- 対策型検診を実施している部位では、胃24.4%、大腸27.5%、肺23.1%、女性乳房30.9%、子宮頸部43.4%と高い割合であったが、食道、子宮体部、卵巣、腎・尿路、甲状腺でも10%を超えていた。

### 集計結果

表9-1, 表9-2…発見経緯別の割合

図6…がん検診・健康診断・人間ドックで発見された症例の割合

### 全部位

直近の平成25-29年（2013-2017年）の5年間では、がん検診・健康診断・人間ドック20.2%、他疾患の経過観察中29.0%、剖検発見0.1%、その他20.0%、不明30.8%であった（表9-1B）。

### 部位別

がん検診・健康診断・人間ドックの割合を部位別にみると、上皮内がんのある部位では、大腸27.5%、結腸27.9%、直腸26.7%、肺23.1%、女性乳房30.9%、子宮32.7%、子宮頸部43.4%と高い値となっていた（表9-1B）。上皮内がんのない部位では、胃24.4%、前立腺31.4%と高い値となっていた（表9-1A）。

胃、大腸、肺、女性乳房、子宮頸部は、有効性の確立したがん検診として国が実施を求めており、対策型検診として市町村が実施している。女性乳房と子宮頸部は30%を超えているものの、胃、大腸、肺は20%台であり、男女での検診受診率の違いを反映している可能性がある。

前立腺は、胃や大腸よりも高い値であり、健康診断や人間ドックでPSA検査が広く行われている結果を反映しているものと考えられる。

その他の部位としては、食道14.3%、子宮体部12.5%、卵巣10.6%、腎・尿路11.8%、甲状腺16.2%と10%を超えており、がん検診の精密検

査、健康診断、人間ドックを通して発見されていた。

平成20-24年（2008-2012年、表9-2A,B）の5年間と比較すると、全部位でのがん検診・健康診断・人間ドックの割合は変わりがないが、部位別では、対策型検診を行っている部位で減少しており、胃で3.9%、肺で1.5%、女性乳房で2.0%、子宮頸部で4.0%減少していた。

### 過去20年間の推移(検診発見)

直近の5年間で、がん検診・健康診断・人間ドックの割合が10%を超えていた部位について、過去20年間の推移を図6に示す。対策型検診を行っている部位を見てみると、男性では、胃が減少傾向、大腸および肺は横ばいであった。女性では、胃が減少傾向、大腸および肺は横ばいで、男性と同じ傾向であったが、乳房および子宮頸部は増加傾向であった。

対策型検診を行っていない部位では、男性で割合が高い前立腺は増加傾向にあったが、今回は減少に転じていた。女性で割合が高い甲状腺は減少傾向にあった。

表9-1 発見経緯別の割合 | 平成25-29年(2013-2017年)

A. 上皮内がんを含まない

部位	ICD-10	集計 対象数 ※	発見経緯別割合 (%)				
			がん検診・ 健康診断・ 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他	不明
全部位	C00-C96	81,667	18.3	28.8	0.1	20.9	32.0
口腔・咽頭	C00-C14	1,813	1.4	21.7	0.0	31.8	45.0
食道	C15	2,515	13.8	35.6	0.0	19.2	31.4
胃	C16	13,371	24.4	34.8	0.0	15.0	25.7
大腸	C18-C20	12,975	22.7	23.1	0.0	22.7	31.5
（再掲）結腸	C18	8,537	22.7	25.7	0.0	22.1	29.5
（再掲）直腸	C19-C20	4,438	22.6	18.2	0.0	23.9	35.3
肝・肝内胆管	C22	2,825	3.5	58.0	0.2	14.8	23.4
胆のう・肝外胆管	C23-C24	1,997	3.5	34.2	0.0	24.6	37.8
膵	C25	3,325	4.4	32.4	0.1	26.6	36.5
鼻腔・中耳・副鼻腔	C30-C31	192	1.0	10.4	0.0	28.6	59.9
喉頭	C32	420	1.9	16.9	0.0	31.2	50.0
肺	C33-C34	9,948	23.1	37.5	0.1	15.6	23.6
皮膚	C43-C44	1,810	0.2	10.2	0.0	41.5	48.1
女性乳房	C50	7,785	28.5	11.7	0.0	23.3	36.4
子宮	C53-C55	2,120	15.6	13.2	0.0	28.3	43.0
（再掲）子宮頸部	C53	757	21.5	12.2	0.0	23.6	42.7
（再掲）子宮体部	C54	1,330	12.5	13.7	0.0	31.1	42.8
卵巣	C56	1,054	10.6	23.1	0.0	27.0	39.2
前立腺	C61	6,470	31.4	30.0	0.2	11.8	26.6
精巣	C62	198	1.5	4.5	0.0	39.4	54.5
腎・尿路	C64-C66・C68	2,352	11.8	40.8	0.1	17.1	30.1
膀胱	C67	1,661	3.3	23.1	0.0	30.9	42.8
脳・中枢神経系	C70-C72	457	2.0	11.6	0.0	44.2	42.2
甲状腺	C73	1,683	16.2	41.7	0.2	11.6	30.4
悪性リンパ腫	C81-C85・C96	2,611	6.6	24.4	0.2	28.2	40.7
多発性骨髄腫	C88・C90	575	4.7	39.0	0.0	21.4	35.0
白血病	C91-C95	1,007	9.5	28.0	0.1	23.9	38.4

B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計 対象数 ※	発見経緯別割合 (%)				
			がん検診・ 健康診断・ 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他	不明
全部位	C00-C96 D00-D09	91,580	20.2	29.0	0.1	20.0	30.8
食道	C15 D001	2,742	14.3	37.6	0.0	18.3	29.8
大腸	C18-C20 D010-D012	16,870	27.5	25.9	0.0	19.3	27.3
（再掲）結腸	C18 D010	11,221	27.9	27.9	0.0	18.7	25.4
（再掲）直腸	C19-C20 D011-D012	5,649	26.7	21.8	0.0	20.4	31.0
肺	C33-C34 D021-D022	9,973	23.1	37.6	0.1	15.6	23.6
皮膚	C43-C44 D030-D049	2,306	0.1	11.2	0.0	40.2	48.4
女性乳房	C50 D05	8,990	30.9	12.7	0.0	22.0	34.4
子宮	C53-C55 D06	3,972	32.7	18.7	0.0	18.4	30.2
（再掲）子宮頸部	C53 D06	2,609	43.4	21.3	0.0	11.9	23.5
膀胱	C67 D090	3,135	5.9	25.8	0.0	27.9	40.4

※ DCOを除く

表9-2 発見経緯別の割合 | 平成20-24年(2008-2012年)

A. 上皮内がんを含まない

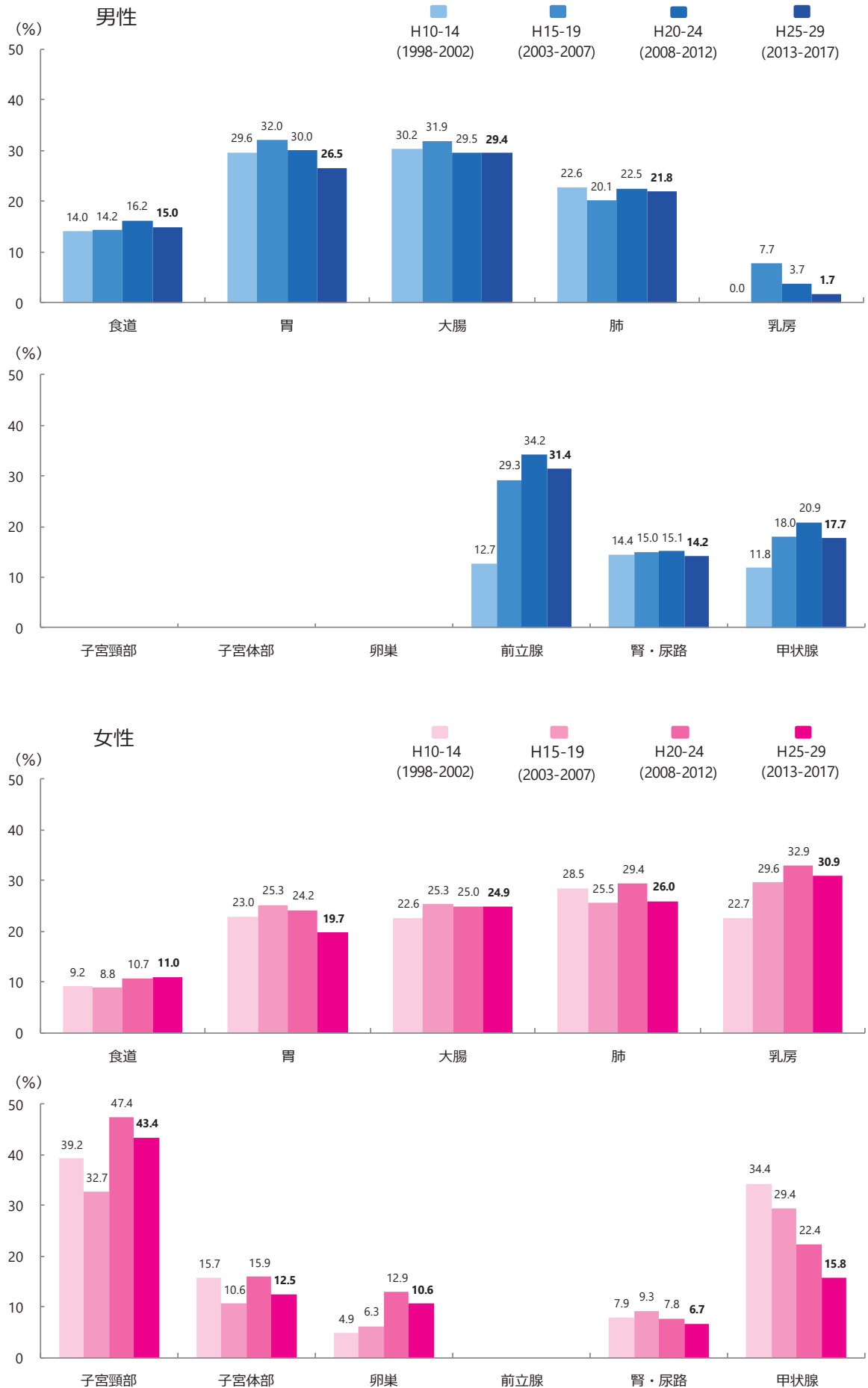
部位	ICD-10	集計 対象数 ※	発見経緯別割合 (%)				
			がん検診・ 健康診断・ 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他	不明
全部位	C00-C96	71,546	19.9	20.6	0.1	0.5	58.9
口腔・咽頭	C00-C14	1,502	1.3	17.6	0.0	0.4	80.7
食道	C15	2,327	14.6	23.7	0.0	0.4	61.2
胃	C16	12,652	28.3	23.3	0.0	0.3	48.1
大腸	C18-C20	11,297	22.0	16.6	0.1	0.6	60.7
（再掲）結腸	C18	7,372	22.6	18.4	0.1	0.6	58.3
（再掲）直腸	C19-C20	3,925	21.0	13.2	0.0	0.6	65.1
肝・肝内胆管	C22	2,686	3.5	49.0	0.1	0.8	46.6
胆のう・肝外胆管	C23-C24	1,935	3.6	22.4	0.1	1.0	73.0
膵	C25	2,562	3.8	21.9	0.1	0.9	73.4
鼻腔・中耳・副鼻腔	C30-C31	177	1.1	10.7	0.0	0.6	87.6
喉頭	C32	412	3.9	12.1	0.0	0.0	84.0
肺	C33-C34	8,551	24.5	27.2	0.1	0.6	47.7
皮膚	C43-C44	1,454	0.1	7.8	0.0	0.3	91.7
女性乳房	C50	6,228	29.5	7.0	0.0	0.6	63.0
子宮	C53-C55	1,920	19.6	7.2	0.0	0.4	72.8
（再掲）子宮頸部	C53	762	25.9	4.9	0.0	0.5	68.8
（再掲）子宮体部	C54	1,125	15.9	9.0	0.0	0.3	74.8
卵巣	C56	837	12.9	13.0	0.0	0.5	73.6
前立腺	C61	6,182	34.2	19.8	0.0	0.4	45.6
精巣	C62	164	0.6	7.3	0.0	0.6	91.5
腎・尿路	C64-C66・C68	1,872	12.8	33.9	0.0	0.4	52.9
膀胱	C67	1,526	4.0	16.1	0.1	0.2	79.6
脳・中枢神経系	C70-C72	397	1.5	9.1	0.0	0.8	88.7
甲状腺	C73	1,370	22.0	25.9	0.1	0.4	51.5
悪性リンパ腫	C81-C85・C96	2,195	7.2	18.6	0.1	0.8	73.3
多発性骨髄腫	C88・C90	506	4.0	30.8	0.0	1.2	64.0
白血病	C91-C95	890	7.4	23.0	0.0	1.7	67.9

B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計 対象数 ※	発見経緯別割合 (%)				
			がん検診・ 健康診断・ 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他	不明
全部位	C00-C96 D00-D09	79,033	21.8	20.4	0.0	0.5	57.2
食道	C15 D001	2,547	15.4	25.8	0.0	0.4	58.4
大腸	C18-C20 D010-D012	14,463	27.6	17.9	0.1	0.5	54.0
（再掲）結腸	C18 D010	9,612	28.4	19.7	0.1	0.4	51.5
（再掲）直腸	C19-C20 D011-D012	4,851	26.2	14.3	0.0	0.5	58.9
肺	C33-C34 D021-D022	8,564	24.6	27.2	0.1	0.6	47.6
皮膚	C43-C44 D030-D049	1,815	0.2	7.9	0.0	0.3	91.6
女性乳房	C50 D05	7,288	32.9	6.9	0.0	0.5	59.7
子宮	C53-C55 D06	3,158	35.7	8.3	0.0	0.9	55.1
（再掲）子宮頸部	C53 D06	2,000	47.4	8.0	0.0	1.4	43.3
膀胱	C67 D090	2,628	6.1	18.8	0.0	0.2	74.9

※ DCOを除く

図6 がん検診・健康診断・人間ドックで発見された症例の割合



## 7 がん罹患後の生存率 Population-based Cancer Survival

- 直近の3年間の5年相対生存率は、男性61.8%、女性67.3%であった。
- 男性で生存率が高い部位は、前立腺、精巣、甲状腺で、いずれも90%を超えていた。女性で生存率が高い部位は、皮膚、乳房、甲状腺で、いずれも90%を超えていた。
- 男女を問わず、食道、肝・肝内胆管、胆のう・肝外胆管、膵、肺、脳・中枢神経系、多発性骨髄腫、白血病は、生存率が低く、そのほとんどが50%を下回っていた。
- 多くの部位で、進展度が進んでいると生存率は低い傾向にあり、早期発見の重要性を示唆する結果であった。

### 集計結果

図7, 表10…5年相対生存率

図8, 表11…進展度別5年相対生存率

### 全部位

直近の平成22-24年（2010-2012年）の3年間では、5年相対生存率は、男性61.8%、女性67.3%であった（図7）。男女ともにそれ以前の6年間と比較して、若干、増加傾向にあった。

同じ部位でも男女によって生存率に違いがあり、多くの部位で、女性で生存率が高い傾向であった。胃、大腸、結腸、直腸、膵、白血病などでは、男女による違いがなく、腎・尿路、膀胱では、男性で生存率が高かった。

### 部位別

男性で生存率が高い部位は、前立腺、精巣、甲状腺で、いずれも90%を超えていた。低い部位は、食道、肝・肝内胆管、胆のう・肝外胆管、膵、肺、脳・中枢神経系、多発性骨髄腫、白血病で、いずれも50%を下回っていた。

それ以前の6年間と比較すると、生存率に大きな違いはないが、脳・中枢神経系では、約10%低下していた。脳・中枢神経系の集計対象数は、他と比べて明らかに少なく、期間による症例の差異が反映された可能性がある。

女性で生存率が高い部位は、皮膚、乳房、甲状腺で、いずれも90%を超えていた。低い部位は、

肝・肝内胆管、胆のう・肝外胆管、膵、肺、脳・中枢神経系、多発性骨髄腫、白血病で、いずれも50%を下回っており、男性と同様であった。食道、卵巣、膀胱も50%程度と低かった。

それ以前の6年間と比較すると、生存率に大きな違いはないが、喉頭で約20%低下していた。喉頭の集計対象数は、他と比べて明らかに少なく、期間による症例の差異が反映された可能性がある。

### 進展度別

#### 全部位

直近の平成22-24年（2010-2012年）の3年間では、男性では限局92.1%、領域53.0%、遠隔転移13.6%と進展度が進むにつれて生存率は低く、女性でも限局93.1%、領域66.1%、遠隔転移16.4%と同様の傾向であった（図8）。

#### 部位別

多くの部位で、進展度が進むにつれて生存率は低い傾向であった。限局の生存率が80%を超えるような部位であっても同様の傾向であり、早期発見の重要性を示唆する結果であった。

図7 5年相対生存率

男性

女性

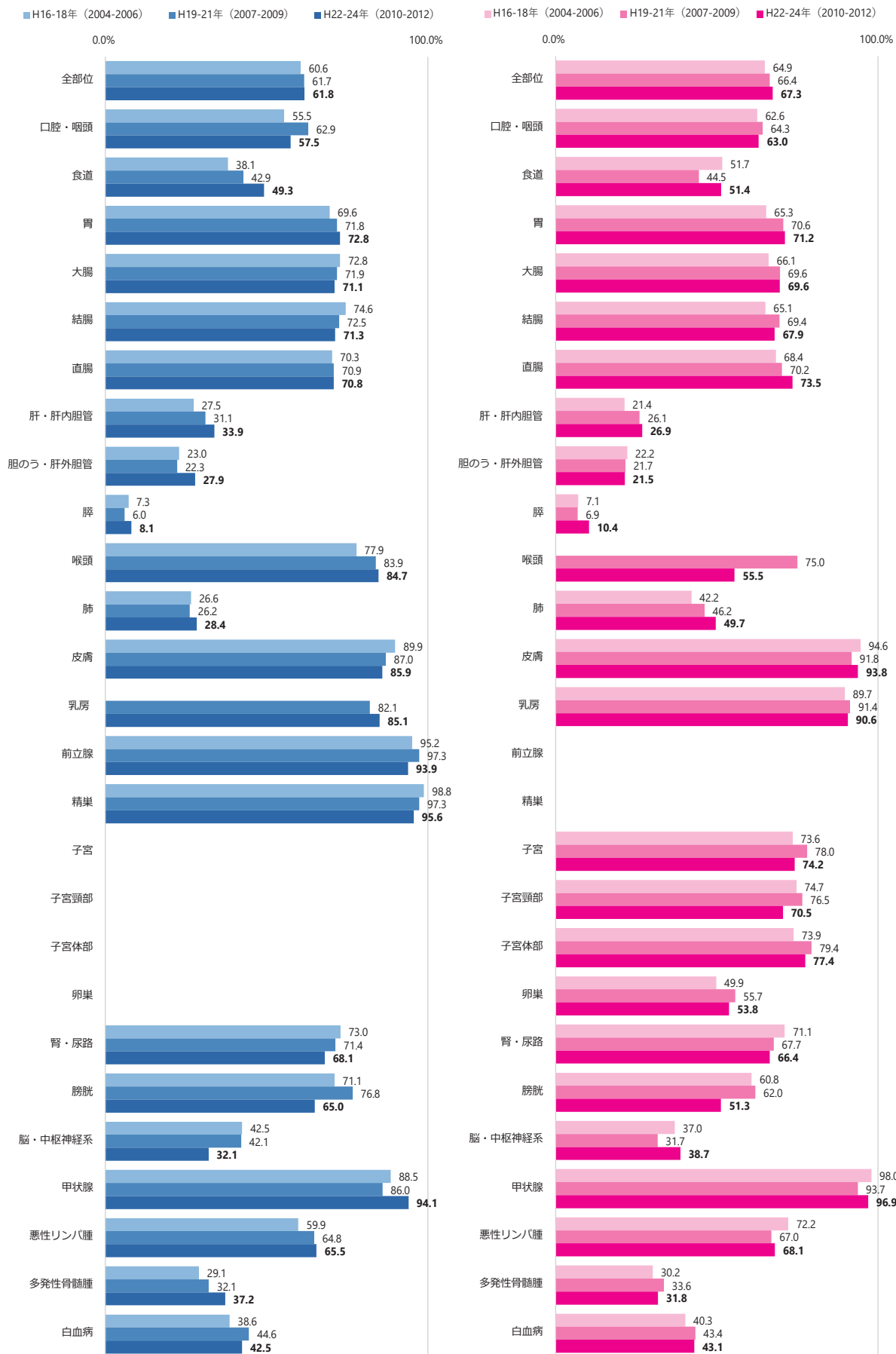




表10 5年相対生存率 | 平成16-24年(2004-2012年)

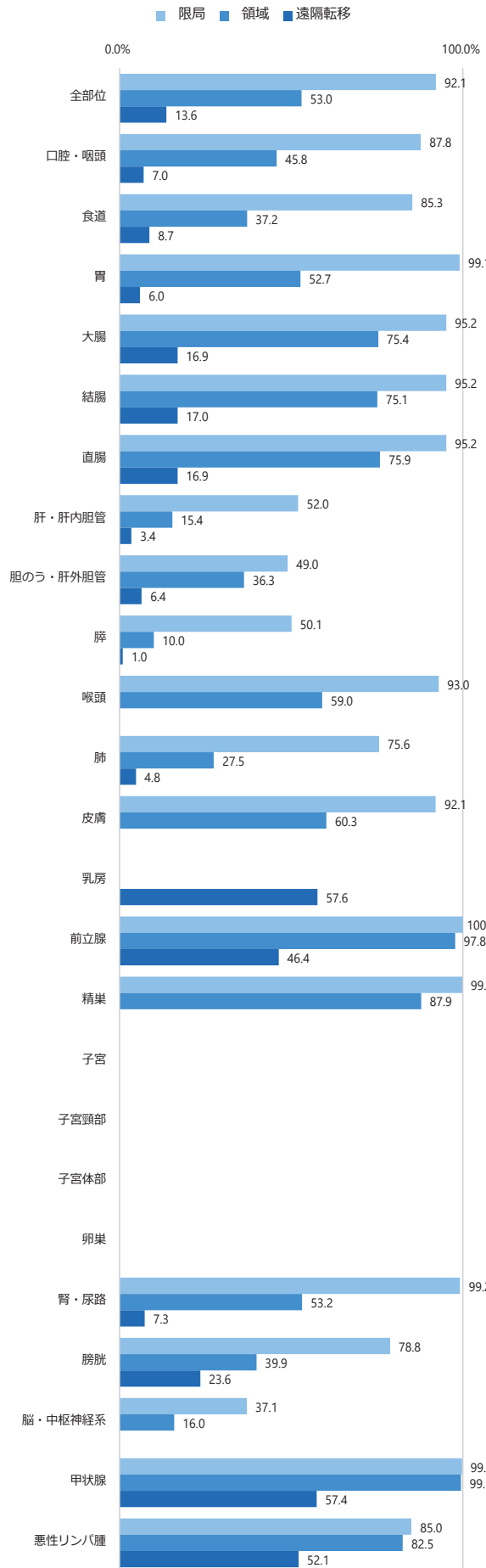
性別	部位	ICD-10	平成16-18年 (2004-2006)			平成19-21年 (2007-2009)			平成22-24年 (2010-2012)		
			集計対象数 ※	実測 生存率(%)	相対 生存率(%)	集計対象数 ※	実測 生存率(%)	相対 生存率(%)	集計対象数 ※	実測 生存率(%)	相対 生存率(%)
男	全部位	C00-C96	18,630	51.9	60.6	19,479	52.6	61.7	23,587	52.4	61.8
	口腔・咽頭	C00-C14	367	49.6	55.5	425	56.2	62.9	576	51.2	57.5
	食道	C15	839	33.1	38.1	805	37.1	42.9	1,098	42.3	49.3
	胃	C16	3,986	60.0	69.6	4,244	61.2	71.8	5,084	61.0	72.8
	大腸	C18-C20	2,894	62.5	72.8	2,950	61.3	71.9	3,515	60.7	71.1
	(再掲) 結腸	C18	1,738	63.1	74.6	1,765	60.6	72.5	2,175	59.5	71.3
	(再掲) 直腸	C19-C20	1,156	61.6	70.3	1,185	62.3	70.9	1,340	62.5	70.8
	肝・肝内胆管	C22	910	24.2	27.5	858	26.9	31.1	999	29.1	33.9
	胆のう・肝外胆管	C23-C24	442	19.5	23.0	480	18.5	22.3	542	22.7	27.9
	膵	C25	558	6.5	7.3	626	5.3	6.0	742	6.9	8.1
	喉頭	C32	185	68.1	77.9	166	71.7	83.9	215	72.1	84.7
	肺	C33-C34	2,517	22.6	26.6	2,763	22.3	26.2	3,330	24.0	28.4
	皮膚	C43-C44	251	72.1	89.9	285	68.8	87.0	443	64.8	85.9
	乳房	C50	10	-	-	15	66.7	82.1	30	63.3	85.1
	前立腺	C61	3,081	79.3	95.2	3,024	81.4	97.3	3,511	79.0	93.9
	精巣	C62	83	97.6	98.8	82	96.3	97.3	103	94.2	95.6
	腎・尿路	C64-C66・C68	555	65.2	73.0	583	63.5	71.4	711	60.2	68.1
	膀胱	C67	465	57.9	71.1	539	62.9	76.8	594	51.5	65.0
	脳・中枢神経系	C70-C72	108	40.7	42.5	126	39.7	42.1	146	30.1	32.1
	甲状腺	C73	123	82.1	88.5	131	79.4	86.0	179	86.0	94.1
	悪性リンパ腫	C81-C85・C96	440	53.0	59.9	498	56.4	64.8	671	58.0	65.5
	多発性骨髄腫	C88・C90	131	25.2	29.1	106	27.4	32.1	146	30.8	37.2
	白血病	C91-C95	238	35.7	38.6	268	41.0	44.6	295	39.0	42.5
女	全部位	C00-C96	13,168	60.1	64.9	14,524	61.1	66.4	17,602	61.6	67.3
	口腔・咽頭	C00-C14	108	58.3	62.6	197	59.4	64.3	287	56.8	63.0
	食道	C15	141	47.5	51.7	159	40.3	44.5	210	47.1	51.4
	胃	C16	1,782	58.9	65.3	1,847	63.2	70.6	2,215	63.0	71.2
	大腸	C18-C20	2,252	59.2	66.1	2,469	61.7	69.6	2,912	61.3	69.6
	(再掲) 結腸	C18	1,565	57.8	65.1	1,747	61.0	69.4	2,059	59.4	67.9
	(再掲) 直腸	C19-C20	687	62.5	68.4	722	63.4	70.2	853	66.0	73.5
	肝・肝内胆管	C22	460	19.4	21.4	470	23.6	26.1	534	24.2	26.9
	胆のう・肝外胆管	C23-C24	466	19.7	22.2	442	18.6	21.7	501	18.2	21.5
	膵	C25	453	6.4	7.1	597	6.2	6.9	701	9.4	10.4
	喉頭	C32	10	-	-	15	66.7	75.0	14	50.0	55.5
	肺	C33-C34	990	38.7	42.2	1,211	42.4	46.2	1,444	45.6	49.7
	皮膚	C43-C44	272	78.7	94.6	316	74.1	91.8	445	73.5	93.8
	乳房	C50	2,994	85.8	89.7	3,202	87.2	91.4	3,839	86.0	90.6
	子宮	C53-C55	711	70.3	73.6	925	75.0	78.0	1,155	71.0	74.2
	(再掲) 子宮頸部	C53	334	71.6	74.7	381	73.2	76.5	463	67.6	70.5
	(再掲) 子宮体部	C54	358	70.4	73.9	538	76.6	79.4	670	74.5	77.4
	卵巣	C56	382	48.2	49.9	480	53.8	55.7	454	52.2	53.8
	腎・尿路	C64-C66・C68	272	65.4	71.1	245	61.6	67.7	331	60.7	66.4
	膀胱	C67	163	53.4	60.8	192	52.6	62.0	229	42.8	51.3
	脳・中枢神経系	C70-C72	66	36.4	37.0	81	30.9	31.7	91	37.4	38.7
	甲状腺	C73	539	95.2	98.0	470	91.1	93.7	651	93.1	96.9
	悪性リンパ腫	C81-C85・C96	416	67.3	72.2	493	61.9	67.0	660	63.0	68.1
多発性骨髄腫	C88・C90	114	27.2	30.2	127	30.7	33.6	156	28.9	31.8	
白血病	C91-C95	193	38.3	40.3	189	41.8	43.4	228	40.8	43.1	

※ 次の症例を除く。なお、10例以下は生存率を算出せず

①DCO, ②多重がんの場合は第2がん以降, ③診断時年齢が不詳および100歳以上, ④上皮内がん

図8 進展度別5年相対生存率 | 平成22-24年(2010-2012年)

男性



女性

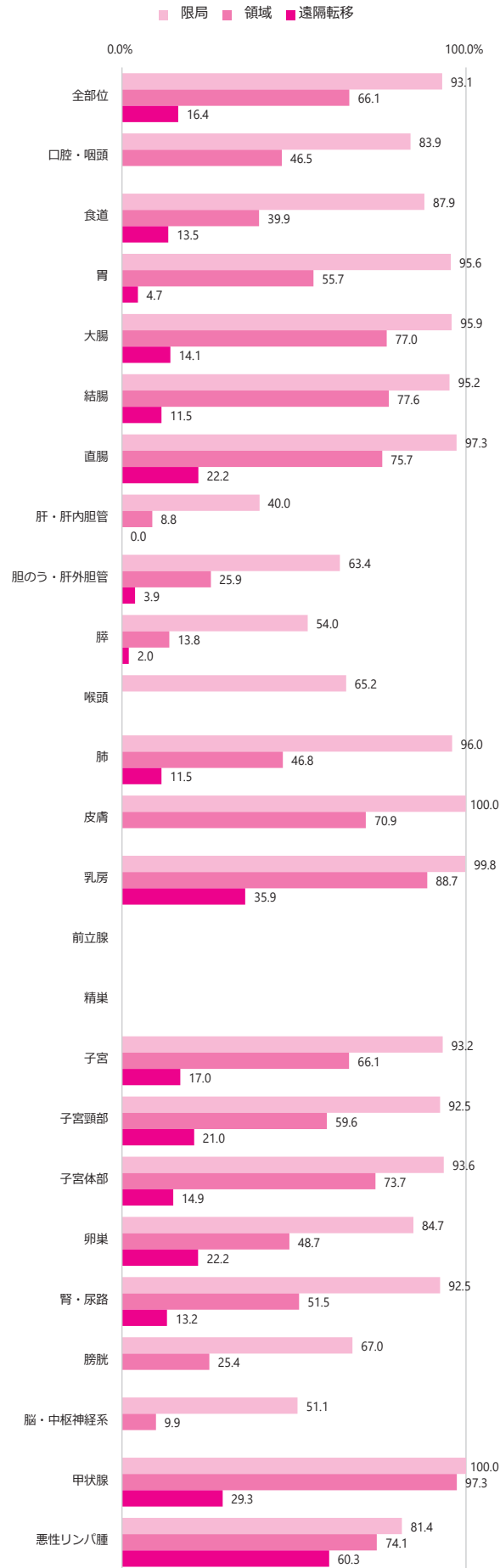


表11 進展度別5年相対生存率 | 平成16-24年(2004-2012年)

単位：%

性別	部位	ICD-10	平成16-18年 (2004-2006)			平成19-21年 (2007-2009)			平成22-24年 (2010-2012)		
			限局	領域	遠隔転移	限局	領域	遠隔転移	限局	領域	遠隔転移
男	全部位	C00-C96	93.2	50.5	11.1	92.9	50.3	13.3	92.1	53.0	13.6
	口腔・咽頭	C00-C14	76.5	46.1	15.4	88.1	56.5	13.8	87.8	45.8	7.0
	食道	C15	78.9	32.0	3.0	89.0	34.6	8.7	85.3	37.2	8.7
	胃	C16	97.5	50.9	5.7	97.8	52.9	5.6	99.1	52.7	6.0
	大腸	C18-C20	98.2	70.3	12.7	95.7	72.4	16.9	95.2	75.4	16.9
	（再掲）結腸	C18	99.7	73.5	12.4	96.2	76.2	15.0	95.2	75.1	17.0
	（再掲）直腸	C19-C20	95.7	66.5	13.3	95.0	67.0	19.7	95.2	75.9	16.9
	肝・肝内胆管	C22	48.7	14.9	0.0	48.1	13.7	2.6	52.0	15.4	3.4
	胆のう・肝外胆管	C23-C24	-	29.3	2.8	62.6	27.4	4.5	49.0	36.3	6.4
	膵	C25	43.0	12.7	0.9	38.8	6.7	0.4	50.1	10.0	1.0
	喉頭	C32	91.7	50.1	-	97.2	48.8	-	93.0	59.0	-
	肺	C33-C34	76.5	25.1	4.3	74.6	24.4	4.2	75.6	27.5	4.8
	皮膚	C43-C44	-	-	-	91.2	69.9	-	92.1	60.3	-
	乳房	C50	-	-	-	77.1	-	-	-	-	57.6
	前立腺	C61	100.0	98.0	43.5	100.0	97.6	53.0	100.0	97.8	46.4
	精巣	C62	100.0	-	-	100.0	-	-	99.8	87.9	-
	腎・尿路	C64-C66・C68	95.4	58.9	13.9	94.9	51.0	17.3	99.2	53.2	7.3
	膀胱	C67	83.7	34.4	7.7	90.2	41.6	0.0	78.8	39.9	23.6
	脳・中枢神経系	C70-C72	-	-	-	57.6	6.9	-	37.1	16.0	-
	甲状腺	C73	100.0	94.1	-	100.0	87.0	20.3	99.7	99.5	57.4
悪性リンパ腫	C81-C85・C96	92.4	71.9	45.8	85.5	79.7	52.3	85.0	82.5	52.1	
女	全部位	C00-C96	94.0	63.6	12.2	93.3	64.8	14.1	93.1	66.1	16.4
	口腔・咽頭	C00-C14	78.5	52.3	-	80.8	50.7	-	83.9	46.5	-
	食道	C15	92.0	52.1	0.0	79.8	40.4	13.6	87.9	39.9	13.5
	胃	C16	97.5	53.9	4.8	97.2	55.1	7.1	95.6	55.7	4.7
	大腸	C18-C20	95.2	69.0	8.1	100.0	72.2	11.1	95.9	77.0	14.1
	（再掲）結腸	C18	96.4	69.3	7.8	100.0	71.7	10.6	95.2	77.6	11.5
	（再掲）直腸	C19-C20	92.6	68.2	9.0	98.9	73.6	12.2	97.3	75.7	22.2
	肝・肝内胆管	C22	38.3	11.7	5.6	41.6	10.8	2.5	40.0	8.8	0.0
	胆のう・肝外胆管	C23-C24	75.3	30.6	2.8	64.1	33.0	0.9	63.4	25.9	3.9
	膵	C25	37.5	10.7	2.4	32.5	11.0	2.0	54.0	13.8	2.0
	喉頭	C32	-	-	-	-	-	-	65.2	-	-
	肺	C33-C34	89.5	28.0	6.9	92.7	32.4	7.0	96.0	46.8	11.5
	皮膚	C43-C44	100.0	72.3	-	98.6	51.3	-	100.0	70.9	-
	乳房	C50	98.0	86.4	35.0	98.3	88.8	33.8	99.8	88.7	35.9
	子宮	C53-C55	93.8	62.0	6.6	93.5	68.6	17.6	93.2	66.1	17.0
	（再掲）子宮頸部	C53	94.1	61.9	0.0	94.8	68.4	9.8	92.5	59.6	21.0
	（再掲）子宮体部	C54	94.4	62.0	9.5	93.2	69.3	23.1	93.6	73.7	14.9
	卵巣	C56	92.7	39.5	19.5	86.8	56.7	16.5	84.7	48.7	22.2
	腎・尿路	C64-C66・C68	96.3	55.4	10.7	90.4	50.9	29.5	92.5	51.5	13.2
	膀胱	C67	84.6	32.6	0.0	79.4	46.6	-	67.0	25.4	-
脳・中枢神経系	C70-C72	-	-	-	47.1	8.4	-	51.1	9.9	-	
甲状腺	C73	100.0	98.7	51.9	97.6	96.3	39.6	100.0	97.3	29.3	
悪性リンパ腫	C81-C85・C96	95.7	74.8	60.6	87.7	79.0	53.8	81.4	74.1	60.3	

10例以下は生存率を算出せず